

領域	専門分野Ⅱ	授業科目	老年看護学Ⅰ	単位(授業時間/時間数)	1(28/30)
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業回数	14回
担当講師名	専任教員		講師所属	福岡水巻看護助産学校	
特記事項	実務経験のある教員による科目			臨床(病院)での看護師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行なう	

授業のねらい

生理機能別に身体の加齢変化を理解することで、高齢者の身体のアセスメントの視点・方法を学ぶ。また、高齢者に特有な身体症状とその症状の発生機序を理解することで、健康障害をかかえる高齢者のライフサイクルやヒストリーをふまえた心身のアセスメントの視点・方法を学ぶ。以上を踏まえ、個体差を考慮した健康障害に応じた援助の必要性を理解し、高齢者のQOLを重視した生活指向の看護を家族への援助も含め学ぶ。さらに、加齢による変化と廃用症候群の違いを理解する。

授業目標

1. 高齢者に対する看護の提供を目的として、「その人らしさ」を描き出すために、フィジカルアセスメントの3つの視点とヒストリーの聴取の必要性を理解する。
2. 身体の加齢変化が高齢者の日常生活に与える影響を考える。
3. 高齢者に特有な身体症状とその症状の発生機序を理解する。
4. 加齢による変化と廃用症候群の違い、病的変化の違いを理解する。
5. 健康障害をかかえる高齢者を想定して疑似体験をすることで、日常生活における不自由さをかかえる生活者としての高齢者の気持ちを理解する。

授業概要

1. 高齢者のアセスメント
 - 1) 身体の加齢変化とアセスメント
 - 2) 高齢者によくみられる身体症状とアセスメント
2. 演習：高齢者疑似体験

授業の進め方

講義、演習

教科書

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学(医学書院)
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論(医学書院)

参考図書

評価方法

課題レポートおよび終講時の客観式テストにて総合評価する。
試験時間は時間数に含む。